

2019 年（令和元年度）



---

# 千葉県職員採用試験

---

上級（大学卒業程度）教養試験の問題&解答



問1 国際連合に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

- 1 国連の安全保障理事会は侵略など平和を脅かす行動をとった国に対する経済制裁を決定することができるが、そのような国に対する武力行使を認める決定をすることはできない。
- 2 国連の平和維持活動（PKO）の任務は、現に武力紛争が続いている地域で、武力紛争の両当事者を停戦に導くことに限られており、停戦が成立した時点でPKOの部隊は撤収する。
- 3 国際司法裁判所は国家間の紛争を国際法に基づいて解決することを目的とする機関である。紛争の一方の当事国から国際司法裁判所に提訴された国は裁判に参加することが義務付けられている。
- 4 国連関係機関の職員は世界各国から採用される。国連関係機関の職員数を国別に見ると、日本人職員はG7諸国の中でアメリカ人、フランス人に次いで3番目に多い。
- 5 国連の予算は加盟国が負担する分担金によって賄われているが、最も高額な分担金が割り当てられているアメリカを含め、分担金を滞納している国があり、国連の財政に資金不足が生じている。

問2 19世紀のヨーロッパに関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア 19世紀初め、フランスのナポレオンはヨーロッパ諸国との戦争に最終的に勝利した。ウィーン議定書が調印され、ナポレオンがヨーロッパの広い地域を支配するウィーン体制が成立した。
- イ 産業革命で他国に先行していたイギリスは、工業製品を輸出し「世界の工場」と呼ばれた。最大の植民地を有する国となり、植民地を自国製品の市場や原材料の供給地とした。
- ウ 19世紀後半のイタリアでは、統一を求め蜂起が繰り返し起こったが、ヨーロッパ諸国に鎮圧され、19世紀中には統一国家は実現せず、小国が分立した状態が続いた。
- エ 小国が分立していたドイツでは統一を求める動きが高まった。19世紀後半には、富国強兵政策を推進していたプロイセン先導で統一が進み、ドイツ帝国が成立した。
- オ ロシアでは勢力拡大のために南下政策が推進されたが、19世紀半ばのクリミア戦争で敗れると革命が起こり、帝政が打倒され社会主義政府が樹立された。

- 1 ア、ウ
- 2 ア、エ
- 3 イ、エ
- 4 イ、オ
- 5 ウ、オ

問3 金融政策に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

- 1 日本の政策金利や通貨量の操作目標は内閣総理大臣が主宰する閣議で決定され、国会の承認を経た上で日本銀行が金融調節を実施する。
- 2 日本銀行は、通貨価値を維持するために、銀行券発行可能額を金の保有量と結び付けており、無制限に通貨量を増やすことはできない。
- 3 日本銀行が量的、質的金融緩和を導入し、長期国債や上場投資信託（ETF）などの金融資産の買入れを進めてきたことから、日本銀行の総資産は増加してきた。
- 4 日本銀行が導入したマイナス金利政策は、日本銀行が民間の金融機関に貸出を行う際の金利をマイナスにすることで、金利全般を引き下げる政策である。
- 5 日本銀行が金利を引き上げると、日本の金融市場で資産運用をする方が有利になるため、外国から日本に資金が流入し、為替レートは円安が進む。

問4 南アメリカに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

- 1 気候で見た時に、大陸の南端は温帯気候に属しているが、それ以外の地域は熱帯気候に属しており、大陸のほとんどを熱帯雨林が占める。
- 2 各国の国民を、ヨーロッパ系、アフリカ系、先住民、混血（メスチソ等）などに分けて見ると、ペルー、ボリビアは、ヨーロッパ系が人口の過半を占めており、アルゼンチンは先住民が人口の過半を占めている。
- 3 鉱産資源は太平洋岸に連なるアンデス山脈沿いに偏在しており、原油や鉄鉱石をはじめとする様々な鉱産資源が産出しているが、銅鉱や銀鉱などほとんど産出しない資源もある。
- 4 輸出作物の生産が盛んで、コーヒー豆やバナナなどを栽培している。また、大豆は、世界的に需要が増大したことを受け、ブラジルなどで2000年代に生産量が急増し、ブラジルは世界有数の輸出国になっている。
- 5 他地域との経済連携協定について見ると、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定では、ペルー、チリは当初交渉に参加していたが、アメリカとともに交渉から離脱し、後に成立したTPP11協定には参加していない。

問5 次の文は、ヒトの血液に関するものである。ア～オのうちには妥当なものの組合せはどれか。

ア 液体成分である血しょうは様々な物質を運搬する働きがある。例えば、肺から取り込まれた酸素は血しょう中に溶け込んで、各組織に運ばれる。

イ 有形成分である赤血球、白血球、血小板はいずれも造血幹細胞から分化したものであり、主に心臓でつくられる。

ウ 有形成分のうちで血液中に含まれる数が最も多いのは赤血球、最も少ないのは白血球である。

エ 血小板は不定形であり、体内に侵入した病原体などの異物を細胞内に取り込み分解する働きがある。

オ 別々の人から採取した血液を混ぜると、赤血球の凝集が起こることがあり、凝集の有無により血液型の分類が行われる。この凝集は抗原抗体反応によるものである。

1 ア, イ

2 ア, オ

3 イ, エ

4 ウ, エ

5 ウ, オ

問6 ある店にはA～Fの6人のアルバイトがおり、ある週の月～金曜日の勤務状況は次のようであった。このとき、正しく言えるのはどれか。

- ・ いずれの日も、勤務していたアルバイトは3人であった。
- ・ AとBは、勤務した日もしなかった日も同じであり、月曜日には勤務しなかった。
- ・ Cは3日だけ勤務し、そのうち1日は金曜日であった。
- ・ Dは、Eが勤務した日は全て勤務し、Fが勤務した日も全て勤務した。
- ・ EとFは1日だけ同じ日に勤務し、このほかにEが勤務したのは水曜日だけ、Fが勤務したのは木曜日だけであった。

- 1 Aが勤務したのは1日だけであった。
- 2 Bは木曜日に勤務した。
- 3 Cは火曜日に勤務した。
- 4 Dは火曜日に勤務した。
- 5 Eは金曜日に勤務した。

問7 A～Fの6人が、それぞれプレゼントを1個ずつ持ち寄り、プレゼント交換をした。次のことが分かっているとき、正しく言えるのはどれか。

- ・ 全員プレゼントをほかの人から1個もらった。また、プレゼントをもらった相手に自分のプレゼントを渡した人はいなかった。
- ・ AはEにプレゼントを渡した。
- ・ BはCにプレゼントを渡した。
- ・ Cがプレゼントを渡した相手はDではなかった。
- ・ Eがプレゼントを渡した相手はDでもFでもなかった。

- 1 CはAにプレゼントを渡した。
- 2 DはEにプレゼントを渡した。
- 3 Dがプレゼントを渡した相手は、Bにプレゼントを渡した。
- 4 Eがプレゼントを渡した相手は、Fにプレゼントを渡した。
- 5 Fがプレゼントを渡した相手は、Aにプレゼントを渡した。

問8 ここには砂糖水がある。今この砂糖水を2:1の量に分けて、それぞれ100gの水を加えたところ、濃度が15%と10%の砂糖水ができた。元の砂糖水の濃度はいくらか。

- 1 20%
- 2 24%
- 3 25%
- 4 27%
- 5 30%

問 1	5
問 2	3
問 3	3
問 4	4
問 5	5
問 6	4
問 7	5
問 8	5